

重 点 目 標	1 特色ある学校づくりの推進	
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 夢（目標）を明確化し、その実現に向けた具体策を考え、努力する児童を育てる。 (2) 自他を尊重する精神を持ち、地域とともに人権・同和教育を推進する。 (3) 学校運営協議会を有効活用し、本校区として特色ある取組を推進し、地域とともにある学校づくりを目指す。 (4) 地域の文化や自然、人に学び、ふるさと庄内を愛する心を育てる。 	
	2 安全・安心な教育環境の整備	
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 防災教育の充実に努め、情報を正しく収集・判断し、自らの安全のための行動に結び付けることができる児童を育てる。 (2) 危機管理マニュアルを適宜見直し、安全・安心な環境整備、学校安全全般に関する校内体制の整備に努める。 (3) 感染症対策については、その時々々の社会状況と地域の実情に応じた、安全・安心な衛生管理に努める。 	
	3 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進	
管 理 運 営	<ul style="list-style-type: none"> (1) タブレット等のICTを効果的に活用するとともに、基本的な読む力・書く力・聞く力を確実に定着させる。 (2) 自他の生命を大切にすることを基盤にして、道徳教育・福祉教育を充実させる。 (3) 学校と家庭が「すすすくカレンダー」を通じて緊密に連携し、望ましい基本的生活習慣の確立に努める。 	
	4 生徒指導の充実	
	<ul style="list-style-type: none"> (1) いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めるとともに、互いの良さを認め合う仲間づくりを行う。 (2) 児童一人一人との教育相談を充実させ、児童対児童、児童対教師の人間関係・信頼関係の深化を図る。 (3) 児童理解に基づくきめ細かな生徒指導・特別支援教育を推進する。 	
	5 働き方改革の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教職員の勤務実態を把握し、ワークライフバランスを意識した働き方改革を実践することによって自らの生活を豊かにし、そのことが児童に対する教育に還元されるという意識改革を進める。 (2) 書類や電子データ等の整理と共有化を図り、教職員が働きやすい環境づくりに努める。 (3) 学校の教育活動は全教職員「One Team」で進めるという意識を持つことで、働きがいのある職場づくりに努める。 	
管 理 運 営	人的管理	<ul style="list-style-type: none"> 1 教育愛と使命感を持った豊かな人格者としての教師を目指し、保護者や地域との信頼関係を構築する。 2 本校独自のペア研修等を通して全教職員が「チーム庄内」の意識を共有するとともに、社会に開かれた教育課程の視点で外部人材を積極的に活用する。 3 社会の要請と地域住民の信頼に応えるため、綱紀粛正と厳正な服務に努める。 4 教職員全員が、学校運営協議会の実践者としての意識を持ち、積極的に運営に参画する。
	物的管理	<ul style="list-style-type: none"> 1 施設・設備の効果的な活用と保全に努め、教育環境の整備を図る。 2 潜在危険箇所の日常点検を進め、安全管理を徹底する。 3 環境問題への関心・意識を高め、電気・水道・消耗品等の節約やリサイクルなど、省エネルギーに努める。
	事務管理	<ul style="list-style-type: none"> 1 教育活動と校務分掌組織を有機的に連携させ、組織力の向上により円滑で効果的な学校運営に努める。 2 諸文書・諸帳簿等の整理・保管に努め、適正な会計管理を行う。 3 ICTの活用により、事務処理の効率化を進めるとともに、情報管理を厳正に行う。
本校教育の特色	<p>庄内校区の特色や個性ある文化を生きた教材として活用するとともに、学校運営協議会を有効活用することで「地域の良さを生かし、地域住民総がかりによる教育」を推進する。さらに、長きにわたって築き上げてきた伝統ある校風の継承と発展に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 紫雲丸事故の教訓を大切に継承し、命の教育や人権・同和教育の更なる充実を図る。 2 外部講師や地域との交流、異学年間交流などの体験活動を通して感性や表現力を磨き、豊かな創造力で新たな時代をつくっていかうとする児童を育てる。 3 学校評価の結果を有効に活用するとともに、保幼小中の連携を推進し、地域から信頼される学校づくりに努める。 4 「学校基本ガイド」を改善し、今年度の本校の教育活動について全家庭へ周知をすることによって信頼関係の深化を図る。 	

